

2023 年度年間教育計画

面接指導施設: 町田美容専門学校 (高等課程)

教科		科目		期間	担当者	
国語		国語総合		単位数: 2 単位 [標準単位: 2 単位]	通年	石綿 泰之
指導目標						
国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。						
1. 様々な角度から検討して自分の考えをもち、根拠を明確にするなど論理の構成や展開を工夫して意見を述べる。						
2. 論理の構成や展開を工夫し、論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめる。						
3. 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わう。						
スクーリング	全 29 回	面接指導: 10 回 講義: 19 回	教科書	教育出版		
レポート	全 6 回	添削指導: 6 回 その他: なし	学習図書	自校作成の教材資料を使用		
定期試験	あり	学期: 2 回	副教材	なし		
定期試験評価割合	80%		評定	100 点法 5 段階評定		
回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/25	火	羅生門①	○		第 1 回(5/23)
2	4/25	火	国語常識①		○	
3	5/9	火	羅生門②	○		
4	5/9	火	国語常識②		○	
5	5/23	火	羅生門③	○		第 2 回(7/4)
6	5/23	火	国語常識③		○	
7	6/6	火	中間試験		○	
8	6/13	火	テスト返却		○	
9	6/13	火	羅生門④	○		第 3 回(9/19)
10	7/4	火	羅生門⑤		○	
11	7/4	火	国語常識④		○	
12	9/5	火	自由の制服①	○		
13	9/5	火	国語常識⑤		○	第 4 回(10/31)
14	9/19	火	自由の制服②	○		
15	9/19	火	国語常識⑥		○	
16	9/21	木	期末試験		○	
17	9/26	火	テスト返却		○	第 5 回(11/21)
18	10/10	火	自由の制服③	○		
19	10/10	火	国語常識⑦		○	
20	10/31	火	自由の制服④	○		
21	10/31	火	国語常識⑧		○	第 6 回(12/5)
22	11/7	火	自由の制服⑤	○		
23	11/7	火	国語常識⑨		○	
24	11/21	火	土佐日記①		○	
25	11/21	火	国語常識⑩		○	第 6 回(12/5)
26	12/5	火	土佐日記②	○		
27	12/5	火	テスト対策		○	
28	12/12	火	期末試験		○	
29	12/15	金	テスト返却		○	

2023 年度年間教育計画

面接指導施設: 町田美容専門学校 (高等課程)

教科	科目		期間	担当者		
国語	現代の国語	単位数: 1 単位 [標準単位: 2 単位]	半期	石綿 泰之		
指導目標						
1. 実社会に必要な国語の知識や技能を身に着けるようにする。 2. 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 3. 言語がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。						
スクーリング	全19回	面接指導: 5回 講義: 14回	教科書	第一学習社		
レポート	全3回	添削指導: 3回 その他: なし	学習図書	自校作成の教材資料を使用		
定期試験	あり	学期: 2回	副教材	なし		
定期試験評価割合	%		評定	100点法5段階評定		
回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/18	火	作文作成		○	第1回(5/2)
2	4/18	火	国語常識①		○	
3	5/2	火	「生きものとして生きる」①	○		
4	5/2	火	国語常識②		○	
5	5/16	火	「生きものとして生きる」②		○	第2回(6/20)
6	5/16	火	国語常識③		○	
7	5/30	火	「生きものとして生きる」③	○		
8	5/30	火	国語常識④		○	
9	6/6	火	中間試験		○	第3回(7/4)
10	6/20	火	テスト返却&解説		○	
11	6/20	火	「生きものとして生きる」④		○	
12	7/4	火	「ものごとば」①	○		
13	7/4	火	国語常識⑤		○	
14	9/5	火	「ものごとば」②	○		
15	9/5	火	国語常識⑥		○	
16	9/19	火	「ものごとば」③	○		
17	9/19	火	テスト対策		○	
18	9/21	金	期末試験		○	
19	9/26	火	テスト返却		○	

2023 年度年間教育計画

面接指導施設: 町田美容専門学校 (高等課程)

教科	科目		期間	担当者		
国語	現代の国語	単位数: 1 単位 [標準単位: 2 単位]	半期	石綿 泰之		
指導目標						
1. 実社会に必要な国語の知識や技能を身に着けるようにする。						
2. 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。						
3. 言語がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。						
スクーリング	全17回	面接指導: 5回 講義: 12回	教科書	第一学習社		
レポート	全3回	添削指導: 3回 その他: なし	学習図書	自校作成の教材資料を使用		
定期試験	あり	学期: 2回	副教材	なし		
定期試験評価割合	80%		評定	100点法5段階評定		
回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/25	火	「砂に埋もれたル・コルビュジエ」①		○	第1回(5/9)
2	4/25	火	国語常識①		○	
3	5/9	火	「砂に埋もれたル・コルビュジエ」②	○		
4	5/9	火	国語常識②		○	
5	5/23	火	「砂に埋もれたル・コルビュジエ」③	○		第2回(6/13)
6	5/23	火	国語常識③		○	
7	6/6	火	中間試験		○	
8	6/13	火	テスト返却&解説		○	
9	6/13	火	「砂に埋もれたル・コルビュジエ」④	○		第3回(7/11)
10	6/27	火	「水の東西」①		○	
11	6/27	火	国語常識④		○	
12	7/11	火	「水の東西」②	○		
13	7/11	火	国語常識⑤		○	
14	9/12	火	「水の東西」③	○		
15	9/12	火	テスト対策		○	
16	9/22	金	期末試験		○	
17	9/26	火	テスト返却		○	

2023 年度年間教育計画

面接指導施設: 町田美容専門学校 (高等課程)

教科	科目		期間	担当者			
国語	言語文化	単位数: 1 単位 [標準単位: 2 単位]	半期	石綿 泰之			
指導目標							
1. 1. 実社会に必要な国語の知識や技能を身に着けるようにする。							
2. 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。							
3. 言語がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。							
スクーリング	全17回	面接指導: 5回 講義: 12回	教科書	第一学習社			
レポート	全3回	添削指導: 3回 その他: なし	学習図書	自校作成の教材資料を使用			
定期試験	あり	学期: 2回	副教材	なし			
定期試験評価割合	80%		評定	100点法5段階評定			
回	日付	曜日	単元・学習内容		面接指導	講義	レポート (締切期日)
1	10/3	火	古文の学習			○	第1回(11/7)
2	10/3	火	国語常識①			○	
3	11/7	火	児のそら寝①		○		
4	11/7	火	国語常識②			○	
5	11/21	火	児のそら寝②		○		第2回(12/5)
6	11/21	火	国語常識③			○	
7	12/5	火	絵仏師良秀①		○		
8	12/5	火	国語常識④			○	
9	12/12	火	中間試験			○	第3回(1/30)
10	1/16	火	テスト返却&解説			○	
11	1/16	火	絵仏師良秀②		○		
12	1/30	火	絵仏師良秀③			○	
13	1/30	火	国語常識⑤			○	
14	2/13	火	文学史		○		
15	2/13	火	テスト対策			○	
16	2/27	火	期末試験			○	
17	3/5	火	テスト返却			○	

2023 年度年間教育計画

面接指導施設: 町田美容専門学校 (高等課程)

教科	科目		期間	担当者
国語	言語文化	単位数: 1 単位 [標準単位: 2 単位]	半期	石綿 泰之
指導目標				
1. 実社会に必要な国語の知識や技能を身に着けるようにする。 2. 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 3. 言語がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。				
スクーリング	全17回	面接指導: 5回 講義: 12回	教科書	第一学習社
レポート	全3回	添削指導: 3回 その他: なし	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	あり	学期: 2回	副教材	なし
定期試験評価割合	80%		評定	100点法5段階評定

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート (締切期日)
1	10/31	火	枕草子①		○	第1回(11/14)
2	10/31	火	国語常識①		○	
3	11/14	火	枕草子②	○		
4	11/14	火	国語常識②		○	
5	11/28	火	枕草子③	○		第2回(12/19)
6	11/28	火	国語常識③		○	
7	12/12	火	中間試験		○	
8	12/19	火	テスト返却&解説		○	
9	12/19	火	土佐日記①	○		第3回(1/23)
10	1/23	火	土佐日記②		○	
11	1/23	火	国語常識④		○	
12	2/6	火	土佐日記③	○		
13	2/6	火	国語常識⑤		○	
14	2/20	火	漢文の学習	○		
15	2/20	火	テスト対策		○	
16	2/27	火	期末試験		○	
17	3/5	火	テスト返却		○	

2023年度年間教育計画

面接指導施設：町田美容専門学校

教科		科目		期間	担当者	
地理歴史・公民		公共		単位数：2単位 [標準単位：2単位]	通年	椿 友輔
指導目標						
人間と社会についての見方や考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通じて、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な資質能力を育成する。						
1. 諸資料から倫理的主体などを通じて活動するために必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。						
2. 選択・判断の手がかりとなる考え方、公共的な空間における基本的原理を活用し、事実を基に多面的・多角的に考察し、公正に判断する力を養う。						
3. 現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民としての自覚などを深める。						
スクーリング	全 36 回(時間)	面接指導：17 回(時間) 講義：19 回(時間)	教科書	第一学習社 高等学校 新公共(教711)		
レポート	全 9 回	添削指導：8 回 その他：1 回	学習図書	自校作成の教材資料を使用		
定期試験	あり	前期：2 回 後期：2 回	副教材	なし		
定期試験の 評価割合	70%	評定算出方法 100点法5段階評定				
回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/13	木	ガイダンス・社会に生きる私たち①	○		第1回目 (5/12)
2	4/20	木	社会に生きる私たち②		○	
3	4/27	木	個人の尊厳と自主	○		
4	5/11	木	世界宗教と民族宗教	○		第2回目 (6/2)
5	5/18	木	幸福と正義の関係性①	○		
6	5/25	木	幸福と正義の関係性②		○	
7	6/1	木	これまでの振り返り～中間試験に向けて～		○	
8			中間試験		○	
9	6/8	木	試験返却・生命倫理をめぐる問題①		○	第3回目 (6/30)
10	6/15	木	生命倫理をめぐる問題②	○		
11	6/22	木	功利主義と道徳法則	○		
12	6/29	木	民主主義と法の支配	○		第4回目 (9/1)
13	7/6	木	民主主義の発展を支えた思想	○		
14	7/13	木	様々な政治体制		○	
15	7/20	木	日本国憲法の基本原理		○	その他①【夏季課題】 (9/1)
16	9/7	木	法と基本的人権		○	
17	9/14	木	これまでの振り返り～期末試験に向けて～		○	
18			期末試験		○	
19	10/5	木	自由権・平等権・社会権①	○		第5回目 (11/10)
20	10/12	木	自由権・平等権・社会権②	○		
21	10/26	木	裁判所と司法①	○		
22	11/2	木	裁判所と司法②		○	第6回目 (12/1)
23	11/9	木	国民の司法参加①	○		
24	11/16	木	国民の司法参加①	○		
25	11/30	木	これまでの振り返り～中間試験に向けて～		○	
26			中間試験		○	
27	12/14	木	試験返却・私たちと選挙		○	第7回目 (2/2)
28	12/21	木	国境と領土問題	○		
29	1/11	木	平和主義と安全保障	○		
30	1/18	木	人種・民族問題～なぜ紛争が起こるのか～		○	第8回目 (2/16)
31	1/25	木	市場経済と公共の福祉①	○		
32	2/1	木	市場経済と公共の福祉②	○		
33	2/8	木	財政のしくみとその課題①		○	
34	2/15	木	財政のしくみとその課題②		○	
35	2/22	木	これまでの振り返り～期末試験に向けて～		○	
36			期末試験		○	

2023 年度年間教育計画

面接指導施設：町田美容専門学校

教科		科目		期間	担当者	
地歴	地理A	単位数：2 単位 [標準単位：2 単位]		年間	北田 邦夫	
指導目標						
1. 現代世界の地理的な諸課題を地域性や歴史的背景，日常生活との関連を踏まえて考察する能力を養う。						
2. 現代世界の地理的認識を養うとともに，地理的な見方や考え方を培う。						
3. 国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。						
スクーリング	全27回	面接指導：10回 講義：15回	教科書	高等学校 新地理A（帝国書院 310） 新詳高等地図（帝国書院 308）		
レポート	全8回	添削指導：6回 その他：2回	学習図書	自校作成の教材資料を使用		
定期試験	あり	学期：1回	副教材	なし		
定期試験評価割合	70%		評定	100点法5段階評定		
回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/13	木	オリエンテーション・1，プレテスト	○		第1回(4/27)
2	4/20	木	2，地上の現象と地球上の位置（地理動画ソフト①）		○	
3	4/27	木	2，地上の現象と地球上の位置（地理動画ソフト②）	○		
4	5/11	木	3，経度の違いと時差（地理動画ソフト③）		○	第2回(5/18)
5	5/18	木	4，球面と平面の世界（地理動画ソフト④）		○	
6	5/25	木	5，国家の領域と国境・日本の領域と領土問題	○		第3回(6/1)
7	6/1	木	6，尖閣諸島は日中どちらのものか	○		
8	6/5	火	前期中間試験			
9	6/8	木	テスト返却・	○		第4回(6/15)
10	6/15	木	8，統計資料の活用と主題図①		○	
11	6/29	木	8，統計資料の活用と主題図②		○	第5回(7/13)
12	7/6	木	8，統計資料の活用と主題図③	○		
13	7/13	木	9，結びつきを強める現代社会		○	
14	7/20	木	10，拡大する貿易		○	第6回(9/14)
15	9/7	木	貿易ゲーム	○		
16	9/14	木	11，世界を結ぶ交通・世界をひとつに結ぶ通信		○	
17	9/21	木	前期末試験（特別時間割）			
18	9/28	木	// 返却			
19	10/5	木	12，観光と人の移動のグローバル化	○		第7回(10/12)
20	10/12	木	13，VTR① 『世界がもしも101人の村だったら』		○	
21	10/26	木	14，カカオ生産における児童労働と途上国の貧困の構造		○	第8回(11/9)
22	11/2	木	15，私たちはアベティとコフィのために何が出来るか・ む効果的な援助とはどういうものかを考える。（グループ学習）	○		
23	11/9	木	16，世界の飢餓と WFP の活動		○	
24	11/16	木	17，VTR② 『一頭の牛が世界を変えた』		○	第8回(11/9)
25	11/30	木	18，肉食の拡大と世界の飢餓	○		
26	12/7	木	後期末試験（特別時間割）			
27	12/14	木	// 返却			

2023 年度年間教育計画

面接指導施設：町田美容専門学校

教科	科目		期間	担当者
地歴	歴史総合	単位数：2 単位 [標準単位：2 単位]	年間	北田 邦夫
指導目標 社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を設定したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。				
スクーリング	全27回	面接指導：13回 講義：18回	教科書	実教出版 歴史総合
レポート	全8回	添削指導：6回 その他：2回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	あり	学期：2回	副教材	なし
定期試験評価割合	70%		評定	100点法5段階評定

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/13	木	「歴史総合」とはどんな科目?(1)プレテスト	○		第1回(4/27)
2	4/20	木	(2) 江戸時代の日本と東アジア秩序の変動		○	
3	4/27	木	(3) 幕政の改革と東アジア世界	○		第2回(5/18)
4	5/11	木	イギリスの産業革命		○	
5	5/18	木	アメリカ独立戦争	○		第3回(6/1)
6	5/25	木	フランス革命①		○	
7	6/1	木	〃 ②	○		
8	6/5	火	前期中間試験			
9	6/8	木	アメリカ合衆国の発展(南北戦争)とラテンアメリカの独立	○		第4回(6/15)
10	6/15	木	アヘン戦争の衝撃と日本の開国		○	
11	6/29	木	江戸幕府の滅亡		○	第5回(7/13)
12	7/6	木	英仏の繁栄と伊独の統一	○		
13	7/13	木	明治政府の諸改革と文明開化		○	第6回(9/14)
14	7/20	木	自由民権運動と大日本帝国憲法		○	
15	9/7	木	帝国主義の時代へ	○		第7回(10/12)
16	9/14	木	朝鮮をめぐる国際関係と日清・日露戦争		○	
17	9/21	木	前期末試験			
18	9/28	木	〃返却(特別時間割)			
19	10/5	木	第一次世界大戦と日本(VTR 大量破壊兵器の登場)	○		第8回(11/9)
20	10/12	木	ロシア革命とソ連の成立		○	
21	10/26	木	米騒動とデモクラシー		○	第9回(12/7)
22	11/2	木	ヴェルサイユ体制とワシントン体制	○		
23	11/9	木	アジアの民族運動(VTR ガンジーの非暴力の戦い)		○	第9回(12/7)
24	11/16	木	広がる社会運動と普通選挙の実現		○	
25	11/30	木	ファシズムの時代(なぜヒトラーは政権を握れたのか?)	○		第9回(12/7)
26	12/7	木	ユダヤ人虐殺 (VTR 夜と霧)		○	
27	12/12	火	後期中間試験			
28	12/14	木	満州事変と軍部の台頭		○	

29	12/21	木	日中戦争と南京大虐殺(VTR「一兵士の従軍日記」)	○		第10回(1/25)
30	1/11	木	第二次世界大戦と日本			
31	1/18	木	アジア太平洋戦争と日本の敗戦		○	
32	1/25	木	日本の戦後改革と東西冷戦	○		
33	2/1	木	日本の高度経済成長とベトナム戦争		○	第11回(2/22)
34	2/8	木	冷戦の終結と地域紛争	○		
35	2/22	木	米中対立とロシアによるウクライナ侵攻		○	
36	2/29	木	後期末試験			
37		木	返却?			

2023 年度年間教育計画

面接指導施設：東海美容

教科	科目		期間	担当者		
数学	数学 I	単位数： 2単位 [標準単位：2単位]	年間	鈴木海渡		
指導目標						
<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>1. 各章の基本的な概念や原理・法則を理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>2. 数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を考察し判断したりする力を養う。</p> <p>3. 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>						
スクーリング	全 36 回	面接指導： 8回 講義： 27回	教科書	数研出版 新 高校の数学 I		
レポート	全 8 回	添削指導： 6回 その他： 2回	学習図書	自校作成の教材資料を使用		
定期試験	あり	学 期： 2回	副教材	授業プリント (配布)		
定期試験評価割合	70%		評定	100 点法 5 段階評定		
回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/13	木	授業説明・計算の基本 (1)		○	第 1 回(5/18)
2	4/20	木	計算の基本 (2)	○		
3	4/27	木	計算の基本 (3)		○	
4	5/11	木	指数法則		○	
5	5/18	木	展開		○	
6	5/25	木	展開の公式 (1)	○		第 2 回(6/15)
7	6/1	木	展開の公式 (2)		○	
8	6/8	木	テスト返却		○	
9	6/15	木	因数分解 (1)		○	第 3 回(7/13)
10	6/22	木	因数分解 (2)	○		
11	6/29	木	因数分解 (3)		○	
12	7/6	木	展開・因数分解の工夫		○	
13	7/13	木	根号を含む式の計算 (1)		○	第 4 回(9/21)
14	7/20	木	根号を含む式の計算 (2)	○		
15	9/7	木	根号を含む式の計算 (3)		○	
16	9/14	木	実数		○	
17	9/21	木	期末試験		○	
18	9/28	木	テスト返却		○	
19	10/5	木	1 次方程式	○		第 5 回(11/9)
20	10/12	木	不等式 (1)		○	
21	10/26	木	不等式 (2)		○	
22	11/2	木	不等式 (3)		○	
23	11/9	木	不等式の解 (1)		○	
24	11/16	木	不等式の解 (2)	○		第 6 回(12/14)
25	11/30	木	不等式の解 (3)		○	
26	12/7	木	不等式の解 (4)		○	

27	12/14	木	テスト返却		○	
28	12/21	木	集合 (1)	○		第7回(1/25)
29	1/11	木	集合 (2)		○	
30	1/18	木	命題 (1)		○	
31	1/25	木	命題 (2)		○	
32	2/1	木	命題 (3)	○		第8回(2/29)
33	2/8	木	必要条件と十分条件 (1)		○	
34	2/15	木	必要条件と十分条件 (2)		○	
35	2/22	木	必要条件と十分条件 (3)		○	
36	2/29	木	試験		○	

2023 年度年間教育計画

面接指導施設：東海美容

教科	科目		期間	担当者
数学	数学I	単位数： 2単位 [標準単位：2単位]	年間	鈴木海渡
指導目標				
<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>1. 各章の基本的な概念や原理・法則を理解するとともに、事象を数式化したり、数学的に解釈したり、数学的に処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>2. 数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を考察し判断したりする力を養う。</p> <p>3. 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>				
スクーリング	全36回	面接指導： 8回 講義： 27回	教科書	数研出版 新 高校の数学I
レポート	全8回	添削指導： 6回 その他： 2回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	あり	学期： 2回	副教材	授業プリント（配布）
定期試験評価割合	70%		評定	100点法5段階評定

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/13	木	授業説明・関数		○	第1回(5/18)
2	4/20	木	1次関数のグラフ	○		
3	4/27	木	2次関数のグラフ(1)		○	
4	5/11	木	2次関数のグラフ(2)		○	
5	5/18	木	2次関数のグラフ(3)		○	
6	5/25	木	2次関数のグラフ(4)	○		第2回(6/15)
7	6/1	木	2次関数のグラフ(5)		○	
8	6/8	木	テスト返却		○	
9	6/15	木	2次関数のグラフ(6)		○	第3回(7/13)
10	6/22	木	2次関数のグラフ(7)	○		
11	6/29	木	2次関数のグラフ(8)		○	
12	7/6	木	2次関数の最大値・最小値(1)		○	
13	7/13	木	2次関数の最大値・最小値(2)		○	第4回(9/21)
14	7/20	木	2次関数の最大値・最小値(3)	○		
15	9/7	木	2次方程式(1)		○	
16	9/14	木	2次方程式(2)		○	第5回(11/9)
17	9/21	木	期末試験		○	
18	9/28	木	テスト返却		○	第6回(12/14)
19	10/5	木	グラフと2次方程式(1)	○		
20	10/12	木	グラフと2次方程式(2)		○	
21	10/26	木	グラフと2次方程式(3)		○	
22	11/2	木	度数分布表(1)		○	
23	11/9	木	度数分布表(2)		○	
24	11/16	木	代表値(1)	○		第6回(12/14)
25	11/30	木	代表値(2)		○	
26	12/7	木	代表値(3)		○	

27	12/14	木	テスト返却		○	
28	12/21	木	四分位数と箱ひげ図 (1)	○		第7回(1/25)
29	1/11	木	四分位数と箱ひげ図 (2)		○	
30	1/18	木	分散・標準偏差 (1)		○	
31	1/25	木	分散・標準偏差 (2)		○	
32	2/1	木	散布図 (1)	○		第8回(2/29)
33	2/8	木	散布図 (2)		○	
34	2/15	木	相関係数 (1)		○	
35	2/22	木	相関係数 (2)		○	
36	2/29	木	試験		○	

2023 年度年間教育計画

面接指導施設：東海美容

教科	科目		期間	担当者
数学	数学 I	単位数： 2単位 [標準単位：2単位]	年間	鈴木海渡
指導目標				
<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>1. 各章の基本的な概念や原理・法則を理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>2. 数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を考察し判断したりする力を養う。</p> <p>3. 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>				
スクーリング	全26回	面接指導： 6回 講義： 20回	教科書	東京書籍 新数学 I
レポート	全8回	添削指導： 4回 その他： 2回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	あり	学期： 2回	副教材	授業プリント（配布）
定期試験評価割合	70%		評定	100点法5段階評定

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/13	木	授業説明・三平方の定理		○	第1回(5/18)
2	4/20	木	三角比(1)	○		
3	4/27	木	三角比(2)		○	
4	5/11	木	三角比(3)		○	
5	5/18	木	三角比の利用(1)		○	
6	5/25	木	三角比の利用(2)	○		第2回(6/15)
7	6/1	木	三角比の利用(3)		○	
8	6/8	木	テスト返却		○	
9	6/15	木	三角比の相互関係(1)		○	第3回(7/13)
10	6/29	木	三角比の相互関係(2)	○		
11	7/6	木	三角比の面積		○	
12	7/13	木	正弦定理(1)		○	第4回(9/21)
13	7/20	木	正弦定理(2)		○	
14	9/7	木	余弦定理(1)	○		
15	9/14	木	余弦定理(3)		○	第5回(11/9)
16	9/21	木	期末試験		○	
17	9/28	木	テスト返却		○	
18	10/5	木	三角比と座標(1)		○	第6回(12/14)
19	10/12	木	三角比と座標(2)	○		
20	10/26	木	三角比と座標(3)		○	
21	11/2	木	三角比の相互関係(1)		○	第6回(12/14)
22	11/9	木	三角比の相互関係(2)		○	
23	11/16	木	三角比の相互関係(3)		○	
24	11/30	木	三角比の相互関係(4)	○		
25	12/7	木	期末試験		○	
26	12/14	木	テスト返却		○	

2023 年度年間教育計画

面接指導施設：町田美容専門学校

教科	科目		期間	担当者
理科	化学基礎	単位数： 2単位 [標準単位：2単位]	年間	渡辺 礼子

指導目標

日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め、化学的に探究する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。

スクーリング	全34回	面接指導：8回 講義：22回	教科書	数研出版『新編 化学基礎』
レポート	全7回	添削指導：6回 その他：1回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	あり	学期：4回	副教材	なし
定期試験評価割合	80%		評定	100点法5段階評定

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/18	火	入門	○		第0回(5/2)
2	4/25	火	物質の構成① 混合物と純物質		○	第1回(5/16)
3	5/2	火	物質の構成② 物質とその成分		○	
4	5/9	火	物質の構成③ 物質の三態と熱運動		○	
5	5/16	火	物質の構成粒子① 原子とその構造	○		
6	5/23	火	物質の構成粒子② イオン		○	第2回(6/6)
7	5/30	火	物質の構成粒子③ 元素の周期表		○	
8	6/6	火	前期中間試験			
9	6/13	火	粒子の結合① イオン結合とイオンからなる物質①	○		第3回(9/12)
10	6/20	火	粒子の結合② イオン結合とイオンからなる物質②		○	
11	6/27	火	粒子の結合③ 分子と共有結合①	○		
12	7/4	火	粒子の結合④ 分子と共有結合②		○	
13	7/11	火	粒子の結合⑤ 共有結合の結晶		○	
14	9/5	火	粒子の結合⑥ 金属結合と金属		○	
15	9/12	火	物質量と化学反応式① 原子量・分子量・式量		○	第4回(10/31)
16	9/19	火	物質量と化学反応式② 物質量		○	
17	9/21	木	前期期末試験			
18	10/3	火	物質量と化学反応式③ 溶液の濃度		○	第4回(10/31)
19	10/10	火	物質量と化学反応式④ 化学反応式と物質量①		○	
20	10/24	火	物質量と化学反応式⑤ 化学反応式と物質量②		○	
21	10/31	火	酸と塩基の反応① 酸・塩基①	○		
22	11/7	火	酸と塩基の反応② 酸・塩基②		○	第5回(1/16)
23	11/14	火	酸と塩基の反応③ 水の電離と水溶液①		○	
24	11/28	火	酸と塩基の反応④ 水の電離と水溶液②	○		
25	12/5	火	酸と塩基の反応⑤ 中和反応と塩		○	
26	12/12	火	後期中間試験			
27	12/19	火	酸と塩基の反応⑥ 中和滴定		○	第5回(1/16)
28	1/16	火	酸化還元反応① 酸化と還元		○	第6回(2/27)
29	1/23	火	酸化還元反応② 酸化剤と還元剤		○	
30	1/30	火	酸化還元反応③ 金属の酸化還元反応①	○		
31	2/6	火	酸化還元反応④ 金属の酸化還元反応②		○	
32	2/13	火	酸化還元反応⑤ 酸化還元反応の応用①	○		
33	2/20	火	酸化還元反応⑥ 酸化還元反応の応用②		○	
34	2/27	火	後期期末試験		○	

2023年度 年間教育計画（シラバス）

面接指導施設：町田美容専門学校

教科	科目		期間	担当者
理科	科学と人間生活	単位数：2単位 [標準単位：2単位]	年間	飯塚 浩
指導目標				
1. 自然と人間生活とのかかわり及び科学技術が人間生活に果たしてきた役割について理解し、身の回りにある事物や現象に興味を持てるようになる。				
2. 将来にわたって自然を大切にする気持ちや科学技術に対する興味・関心をもち続けることの大切さを理解する。				
スクーリング	全 30 回	面接指導： 16 回 講義： 5 回	教科書	第一学習者 高等学校 科学と人間生活
レポート	全 6 回	添削指導： 6 回 その他： 0 回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	あり	前期期末： 1 回 後 期： 2 回	副教材	配布プリント その他
定期試験の 評価割合	70%	評定算出方法 100法5段階評定		

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接 指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/17	月	ガイダンス 序章 科学技術の発展	○		第1回 (5/22) p17-p49
2	4/24	月	化学分野 中学校の振り返り		○	
3	5/1	月	第2節衣料と食品 1身近な繊維 2繊維の構造	○		
4	5/8	月	3天然繊維 4化学繊維	○		
5	5/15	月	5食品の中の主な栄養素 6炭水化物	○		第2回 (6/26) p50-p61
6	5/22	月	7炭水化物(2)	○		
7	5/29	月	レポート返却 前期中間振り返り			
8	6/5-6		前期中間試験			
9	6/12	月	試験返却 8タンパク質 9脂質		○	第3回 (9/4) p68-p73 p84-p87
10	6/19	月	10その他の栄養素	○		
11	6/26	月	第Ⅱ章生命の科学 第1節人の生命現象 1タンパク質の働きと構造 2遺伝子とDNA	○		
12	7/3	月	レポート返却 3タンパク質の合成			
13	7/10	月	8ヒトの視覚(1) 9ヒトの視覚(2)	○		第4回 (11/13) p68-p73
14	9/4	月	第Ⅲ章熱や光の科学 第1節熱の性質とその利用 1温度と熱運動 2熱容量と比熱(1)	○		
15	9/11	月	レポート返却 前期期末振り返り			
16	9/25	月	期末試験 9/20-9/25	○		
17	10/2	月	試験返却 3熱容量と比熱(2)		○	第5回 (1/15)
18	10/30	月	4熱の伝わり方 5仕事や電流と熱の発生	○		
19	11/6	月	6エネルギーの移り変わり 7エネルギー資源の有効活用		○	
20	11/13	月	第Ⅳ章 地球や宇宙の科学 第1節自然景観と自然災害 1日本列島のなりたち	○		
21	11/27	月	レポート返却 2火山活動と地表の変化 3火山災害と防災			第5回 (1/15)
22	12/4	月	後期中間振り返り	○		
23	12/11	月	中間試験 12/11-12/12			
24	12/18	月	試験返却 4地震活動と地表変化 5地震災害と防災		○	

25	1/15	月	6水の働きと地表の変化(1) 7水の働きと地表の変化(2)	○		第6回 (2/19)
26	1/22	月	レポート返却 8気象災害と防災			
27	1/29	月	第2節太陽と地球 1太陽と太陽系	○		
28	2/19	月	レポート返却 2太陽系を構成する天体	○		
29	2/26	月	後期期末試験			
30	3/4	月	試験返却 レポート返却			

教科	科目		期間	担当者
保健体育	保健	単位数：2単位	年間	沢田 久見子
指導目標・・・保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。				
(1) 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。				
(2) 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。				
(3) 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。				
スクーリング	全 29 回	面接指導： 4 回 講義： 25 回	教科書	現代高等保健体育
レポート	全 6 回	添削指導： 6 回 その他： 0 回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	あり	学期：2回	副教材	なし
定期試験の 評価割合	70 %	評定算出方法 100法5段階評定		

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/18	火	1単元1 健康の考え方と成り立ち・2 健康のすがた	○		
2	4/25	火	1-3・4 生活習慣病の予防と回復		○	第1回 配布
3	5/2	火	1-4・5 がん		○	回収
4	5/9	火	1-6 運動と健康		○	第2回 配布
5	5/16	火	1-7/8 食事・休養・睡眠と健康		○	回収
6	5/23	火	1-9 喫煙と健康			
7	5/30	火	1-10/11 飲酒と健康・薬物乱用と健康 ※6/6 中間試験		○	
8	6/13	火	1-12/13 精神疾患①		○	第3回 配布
9	6/20	火	1-13/14 精神疾患②		○	回収
10	6/27	火	1-15/16 現代の感染症・予防	○		
11	7/4	火	1-16/17 感染症の予防・性感染症		○	
12	7/11	火	2単元1/2 事故の現状と発生要因・安全社会の形成			
13	9/5	火	2-3/4 交通における安全・応急手当		○	第4回 配布
14	9/12	火	2-5 日常的な手当て		○	回収
15	9/19	火	2-6 心肺蘇生法 ※9/20 期末試験	○		
16	10/3	火	3-1/2 ライフステージ・思春期		○	
17	10/10	火	3-3 性意識		○	第5回 配布
18	11/7	火	3-4/5 妊娠 避妊法と人工妊娠中絶		○	回収
19	11/14	火	3-6 結婚生活		○	
20	11/21	火	3-7 中高年と健康		○	
21	11/28	火	3-8・9・10 労働と健康		○	
22	12/5	火	4-1/2 汚染と健康 ※12/12 中間試験		○	
23	12/19	火	4-3/4 環境対策・ごみ処理と水道整備		○	
24	1/16	火	4-5・6 食品		○	第6回 配布
25	1/23	火	4-7 保健サービス		○	回収
26	1/30	火	4-8 医療サービス	○		
27	2/6	火	4-9 医薬品		○	
28	2/13	火	4-10/11 保健活動・健康に関する環境づくり		○	
29	2/20	火	まとめ		○	
	2/27	火	※期末試験		○	

教科	科目		期間	担当者
保健体育	体育	単位数： 3単位	年間	蓮見 恵太
指導目標 運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育てる。健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。				
スクーリング	全 30 回	面接指導： 30 回 講義： 0 回	教科書	現代高等保健体育
レポート	全 6 回	添削指導： 6 回 その他： 0 回	学習 図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	なし	学期： 0 回		
定期試験の 評価割合	なし	評定算出方法 100法5段階評定	副教材	なし

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接 指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/25	火	ガイダンス 体づくり運動	○		
2	5/9	火	バスケットボール 個人技能習得	○		第1回 (5/23)
3	5/23	火	バスケットボール 個人技能習得	○		第2回 (6/13)
4	6/13	火	バスケットボール 個人・対人技能習得	○		第3回 (6/27)
5	6/27	火	バスケットボール 実技テスト	○		
6	7/11	火	バスケットボール 実技テスト	○		
7	9/12	火	バスケットボール 対人技能習得	○		
8	10/10	火	体づくり運動	○		
9	10/31	火	サッカー 個人技能習得	○		第4回 (11/14)
10	11/14	火	サッカー 個人技能習得	○		第5回 (11/28)
11	11/28	火	サッカー 個人・対人技能習得	○		第6回 (12/19)
12	12/19	火	サッカー 実技テスト	○		
13	1/23	火	サッカー 実技テスト	○		
14	2/6	火	サッカー 対人技能習得	○		
15	2/20	火	サッカー 対人技能習得	○		

教科	科目		期間	担当者
保健体育	体育	単位数： 3単位	年間	蓮見 恵太
指導目標 運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育てる。健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。				
スクーリング	全 28 回	面接指導： 28 回 講義： 0 回	教科書	現代高等保健体育
レポート	全 6 回	添削指導： 6 回 その他： 0 回	学習 図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	なし	学期： 0 回		
定期試験の 評価割合	なし	評定算出方法 100法5段階評定	副教材	なし

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接 指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/18	火	ガイダンス 体づくり運動	○		
2	5/2	火	バスケットボール 個人技能習得	○		第1回 (5/16)
3	5/16	火	バスケットボール 個人技能習得	○		第2回 (5/30)
4	5/30	火	バスケットボール 個人・対人技能習得	○		第3回 (6/20)
5	6/20	火	バスケットボール 実技テスト	○		
6	7/4	火	バスケットボール 実技テスト	○		
7	9/5	火	バスケットボール 対人技能習得	○		
8	9/19	火	体づくり運動	○		
9	10/3	火	サッカー 個人技能習得	○		第4回 (11/7)
10	11/7	火	サッカー 個人技能習得	○		第5回 (12/5)
11	12/5	火	サッカー 個人・対人技能習得	○		第6回 (1/16)
12	1/16	火	サッカー 実技テスト	○		
13	1/30	火	サッカー 実技テスト	○		
14	2/13	火	サッカー 対人技能習得	○		

2023年度年間教育計画

面接指導施設：町田美容専門学校

教科	科目		期間	担当者
外国語	英語コミュニケーションI (2年次)	単位数： 2 単位 [標準単位： 2単位]	年間	井坂 朝子

指導目標

1. 教科書レベルの平易な文を聞き取り、理解できるようにする。
2. 教科書レベルの平易な文で、自分の考え、感情を伝えられるようにする。
3. 題材の背景にある自然、文化について理解を深める。

スクーリング	全 29 回	面接指導： 16 回 講義： 9 回	教科書	All abroad EnglishCommunication 1
レポート	全 8 回	添削指導： 6回 その他： 2回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	あり	学 期： 前期2回 後期2回	副教材	授業プリント (配布)
定期試験の 評価割合	70 %	評定算出方法 100法5段階評定		

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接 指導	講義	レポート (締切期日)
---	----	----	---------	----------	----	----------------

1	4/17	月	ガイダンス	○		第1回(5/8)
2	4/24	月	Lesson3 [1]・Lesson3 [1]	○		
3	5/1	月	Lesson3 [1]		○	
4	5/8	月	Lesson3 [2]		○	
5	5/15	月	Lesson3 [2]		○	第2回(5/22)
6	5/22	月	Lesson3 まとめ	○		
7	5/29	月	試験対策	○		
8	6/5	月	中間試験			
9	6/12	月	試験返却・Lesson4 [1]	○		第3回(6/26)
10	6/19	月	Lesson4 [1]	○		
11	6/26	月	Lesson4 [1]		○	
12	7/3	月	Lesson4 [2]	○		第4回(9/4)
13	7/10	月	Lesson4 [2]		○	
14	9/4	月	Lesson4 まとめ	○		
15	9/11	月	試験対策	○		
16	9/25	月	期末試験			
17	10/30	月	試験返却・Lesson5 [1]	○		第5回(11/13)
18	11/6	月	Lesson5 [1]	○		
19	11/13	月	Lesson5 [2]		○	
20	11/20	月	Lesson5 [2]		○	第6回(11/27)
21	11/27	月	Lesson5 まとめ	○		
22	12/4	月	試験対策	○		
23	12/11	月	中間試験			
24	12/18	月	試験返却・Lesson6 [1]	○		第7回(1/15)
25	1/15	月	Lesson6 [1]		○	
26	1/22	月	Lesson6 [2]	○		第8回(1/29)
27	1/29	月	Lesson6 [2]		○	
28	2/26	月	学年末試験			
29	3/4	月	試験返却	○		

2023年度年間教育計画

面接指導施設：町田美容専門学校

教科	科目		期間	担当者
外国語	コミュニケーション英語Ⅰ（3年次）	単位数： 2 単位 [標準単位： 2 単位]	年間	井坂 朝子

指導目標

1. 英文の基本構造を理解し、意味のまとまりで大意をつかめるようにする。
2. 基礎的文法事項の習得により、自分の考えを、感情を伝えられるようにする。
3. 世界で起きている事象に目を向け、幅広い視野を持たせる。

スクーリング	全 24 回	面接指導： 16 回 講義： 5 回	教科書	All abroad English Communication 1
レポート	全 8 回	添削指導： 6回 その他： 2回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	あり	学 期： 前期2回 後期1回	副教材	授業プリント（配布）
定期試験の 評価割合	70 %	評定算出方法 100法5段階評定		

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接 指導	講義	レポート (締切期日)
---	----	----	---------	----------	----	----------------

1	4/17	月	ガイダンス	○		
2	4/24	月	Lesson 8 [1]	○		第1回(5/1)
3	5/1	月	Lesson 8 [1]		○	
4	5/8	月	Lesson 8 [2]	○		
5	5/15	月	Lesson 8 [2]		○	第2回(5/15)
6	5/22	月	Lesson 8 まとめ	○		第3回(5/22)
7	5/29	月	試験対策	○		
8	6/5	月	中間試験			
9	6/12	月	試験返却・Lesson 9 [1]	○		第4回(6/26)
10	6/19	月	Lesson 9 [1]	○		
11	6/26	月	Lesson 9 [1]		○	
12	7/3	月	Lesson 9 [2]	○		第5回(7/10)
13	7/10	月	Lesson 9 [2]		○	
14	9/4	月	Lesson 9 まとめ		○	第6回(9/4)
15	9/11	月	試験対策	○		
16	9/25	月	期末試験			
17	10/2	月	試験返却・Lesson10 [1]	○		第7回(11/6)
18	10/30	月	Lesson10 [2]	○		
19	11/6	月	Lesson10 [3]	○		
20	11/13	月	Lesson10 まとめ①	○		第8回(11/20)
21	11/20	月	Lesson10 まとめ②	○		
22	11/27	月	試験対策	○		
23	12/4	月	中間試験			
24	12/11	月	試験返却	○		
25						
26						
27						
28						
29						

2023年度年間教育計画

面接指導施設：町田美容専門学校

教科	科目		期間	担当者		
外国語	英語コミュニケーションI (1年次)	単位数： 2 単位 [標準単位： 2単位]	年間	井坂 朝子		
指導目標						
1. 英語に対する苦手意識を軽減し、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図る。						
2. 英語を通して、言語や文化に対する理解を深める。						
スクーリング	全 31 回	面接指導： 16 回 講義： 11 回	教科書	All abroad EnglishCommunication 1		
レポート	全 8 回	添削指導： 6回 その他： 2回	学習図書	自校作成の教材資料を使用		
定期試験	あり	学期： 前期2回 後期2回	副教材	授業プリント (配布)		
定期試験の 評価割合	70 %	評定算出方法 100法5段階評定				
回	日付	曜日	単元・学習内容	面接 指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/17	月	ガイダンス	○		第1回(5/8)
2	4/24	月	Warm-up 1	○		
3	5/1	月	Warm-up 2		○	
4	5/8	月	Warm-up 3	○		
5	5/15	月	Pre-Lesson 1		○	第2回(5/29)
6	5/22	月	Pre-Lesson 1・2	○		
7	5/29	月	Pre-Lesson 2		○	
8	6/5	月	中間試験			
9	6/12	月	Lesson 1 [1]	○		第3回(7/3)
10	6/19	月	Lesson 1 [1]		○	
11	6/26	月	Lesson 1 [2]	○		
12	7/3	月	Lesson 1 [2]		○	第4回(9/4)
13	7/10	月	Lesson 1 まとめ①	○		
14	9/4	月	Lesson 1 まとめ②		○	
15	9/11	月	試験対策	○		
16	9/25	月	期末試験			
17	10/2	月	Lesson 2 [1]	○		第5回(11/13)
18	10/30	月	Lesson 2 [1]		○	
19	11/6	月	Lesson 2 [2]	○		
20	11/13	月	Lesson 2 [2]		○	第6回(11/27)
21	11/20	月	Lesson 2 まとめ①	○		
22	11/27	月	Lesson 2 まとめ②		○	
23	12/4	月	試験対策	○		
24	12/11	月	中間試験			
25	12/18	月	Lesson 3 [1]	○		第7回(1/15)
26	1/15	月	Lesson 3 [1]		○	
27	1/22	月	Lesson 3 [2]	○		第8回(2/19)
28	1/29	月	Lesson 3 [2]		○	
29	2/19	月	Lesson 3 まとめ	○		
30	2/26	月	学年末試験			
31	3/4	月	試験返却	○		

2023 年度年間教育計画

面接指導施設：

教科	科目		期間	担当者		
情報	情報 I	単位数： 単位 [標準単位： 単位]	年間	糸賀雅史		
指導目標						
1. 情報社会に対応するのに必要な知識と技能を習得する。						
2. 課題や目的に応じた情報手段の活用や発信・伝達する能力など情報活用の実践力を身に着ける。						
3. 情報手段の特性の理解など情報の科学的な理解社会での情報技術が果たしている役割への理解を深める						
4. 以上を通じて情報社会に適切に参画する態度を身に着ける。						
スクーリング	全 24 回	面接指導： 12 回 講義： 12 回	教科書	実教出版 図説 情報 I		
レポート	全 10 回	添削指導： 6 回 その他： 4 回	学習図書	自校作成の教材資料を使用		
定期試験	あり	学 期： 2 回	副教材	なし		
定期試験評価割合	70%		評定	100 点法 5 段階評定		
回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/17	月	情報社会と私たち			第 1 回(5/1)
2	4/24	月	情報の管理と保護			
3	5/1	月	知的財産権			第 2 回(5/22)
4	5/8	月	著作権 1			
5	5/15	月	著作権 2			第 3 回(6/5)
6	5/22	月	情報セキュリティ 1			
7	5/29	月	情報セキュリティ 2			第 4 回(6/26)
8	6/5	月	前期中間試験			
9	6/12	月	問題解決とアルゴリズム			第 5 回(7/10)
10	6/19	月	KJ 法			
11	6/26	月	メディアの機能と特性			第 6 回(9/11)
12	7/3	月	メディアリテラシーとコミュニケーション			
13	7/10	月	さまざまな情報システム			第 7 回(11/13)
14	9/4	月	モデル化とシミュレーション			
15	9/11	月	デジタル表現の特徴と 2 進数と情報量			第 8 回(11/27)
16	9/25	月	前期期末試験			
17	10/30	月	数値のデジタル表現 1			第 9 回(1/15)
18	11/6	月	数値のデジタル表現 2			
19	11/13	月	文字のデジタル表現			第 10 回(2/5)
20	11/20	月	音声・画像のデジタル表現			
21	11/27	月	圧縮とファイル形式			第 9 回(1/15)
22	12/4	月	さまざまな情報機器			
23	12/11	月	後期中間試験			第 10 回(2/5)
24	12/18	月	ハードウェアとソフトウェア			
25	1/15	月	ビジュアルプログラミング			第 10 回(2/5)
26	1/22	月	ネットワークの仕組み			
27	1/29	月	TCP/IP			第 10 回(2/5)
28	2/26	月	後期期末試験			

2023年度年間教育計画

面接指導施設：町田美容専門学校

教科	科目		期間	担当者
現代文明論	高校現代文明論	単位数：1単位 [標準単位：1単位]	通信方式	飯塚 浩
指導目標				
自らに「人生いかに生きるべきか」と問いかけ、意義ある人生を送るため、多様なものの見方の中から、正しいものの見方・考え方を確立し、人道主義・人格主義に基づいた思想を培う。				
スクーリング	全 5 回	面接指導：3 回 講義：2 回	教科書	東海大学出版 新編高校現代文明論
レポート	全 3 回	添削指導：3 回 その他：回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	なし	学期：回	副教材	配布プリント など
定期試験の 評価割合	%	評定算出方法 100法5段階評定		

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート (締切期日)
1			校長講話		○	
2			学習テーマ：「何を学ぶ科目なの？」・「調査の方法」	○		第1回 (/)
3			学習テーマ：「プレゼンテーション」	○		第2回 (/)
4			学習テーマ：「人の生き方に学ぶ①」 山田 守 (未来を考えた建築)		○	
5			学習テーマ：「人の生き方に学ぶ②」 松前 重義 (人との出会い)	○		第3回 (/)